



共通教育科

高村 夏輝 准教授

【研究分野】

哲学、倫理学

【キーワード】

現象的意識、バートランド・ラッセル

【URL】

<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=296taka>

ラッセル的一元論の研究

研究概要

意識の科学的研究や心についての哲学的研究にとって、大きな難問とされているのが現象的意識、クオリアの問題です。クオリアとは意識の主観的な側面のことですが、どのように研究をすればそれを「科学的に解明」したことになるのかはまだよく理解されていません。

今この問題に対して注目されているアプローチが、バートランド・ラッセルが提唱した中性的一元論（ラッセル的一元論）の立場です。百年近く前のラッセルのアイデアを現在の意識に関する研究とどのように組み合わせるかを考えています。

講座テーマ紹介

以下のようなテーマが私の研究課題と重なるものの例となります。

- ・意識の科学的研究にどのような問題があるか
- ・「人間並み」の人工知能の開発にどのような困難があるか
- ・「汎心論」の世界観について
- ・バートランド・ラッセルの哲学とは

アピールポイントなど

この研究テーマに関連した仕事としては、以下のものがあります。

- ・『現代哲学』バートランド・ラッセル著、高村夏輝訳、ちくま学芸文庫、2014年
- ・「汎心論は再起動するか」、鈴木貴之氏との対談、『現代思想』2020年6月号、青土社

